

コロサイ人への手紙 4章 7-17

「クリスチヤンの交わり」

2025 年 12 月 3 日

「私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。私たちがこれらのこと書き送るのは、私たちの喜びが全きものとなるためです。」

-1 ヨハネ 1:3 -

① パウロのもとからコロサイに行く人 (v.7-9)

○テキコ：使徒 20:4

パウロ 3回目の伝道旅行、エペソでの3年の滞在とそこで暴動によって、船出した時に同行していた7人の一人
cf エペソ 6:21,2 テモテ 4:12, テトス 3:12 にも登場

○オネシモ：ピレモン 12

- ・ピレモンのところからの脱走奴隸。パウロのローマ獄中滞在の時に救われる（ピレモン 10）
- ・かつては役に立たないものでしたが、今は役に立つものに替えられた。（ピレモン 11）
- ・このときに、コロサイにいるピレモンのもとに帰る（ピレモン 12）

② パウロとともにいて、コロサイの教会に「よろしく」と挨拶を送る多様な6人(v10-14)

<3人のユダヤ人>

○アリストルコ：使徒 20:4, ローマ 16:7

パウロ 3回目の伝道旅行、エペソでの3年の滞在とそこで暴動によって、船出した時に同行していた7人の一人

○マルコ

- ・若いころは1回目の伝道旅行から逃げ出したため、「使い物にならん。」とパウロに言われる（使徒 13:13, 15:38）
- ・12年の後パウロとともにローマの監獄にいる。パウロに「同労者」「役に立つもの」と呼ばれる
(ピレモン 24/2 テモテ 4:11)
- ・福音書の執筆者

○ユストと呼ばれるイエス

<3人の異邦人>

○エパフラス：コロサイ教会の教師。獄中のパウロに教会の現状問題を知らせ、この手紙を書かせる動機となつた人（コロサイ 1:7）

○医者ルカ：福音書、使徒の働きの執筆者

○デマス：のちにクリスチヤンをやめる（2 テモテ 4:10）

○手紙の受け取り手(v15-17)

○コロサイの教会の人たち

○ラオで木屋の教会の人たち

○ヌンバとその家にある教会の人たち

○アルキポ（ピレモン 2）